

内閣総理大臣賞受賞

宮坂流津山銭太鼓保存会

10月に東京で開催された民謡民舞全国大会で、37団体の中から優勝に相当する内閣総理大臣賞を受賞した宮坂流津山銭太鼓保存会の皆さん。

宮坂麻未さんと宮坂一樹さんは「ステージでは昨年出場した時よりも力まずに踊れて、普段の練習の成果を発揮することができました。客席の皆さんからもたくさんの声援をいただき、受賞できて本当にうれしかったです。今後は、新しい曲や踊りにどんどん挑戦して、また受賞ができるようにがんばりたいです」と力強く語ってくれました。



寺坂実成くん

3日間で職場の大変さや厳しさなどを学びました。実際にインタビューをして原稿を書くのは緊張したけど、良い経験になりました。



綾部啓祐くん

カメラなどを使って取材したことがいい思い出です。実際に校正作業や会議を行って1つの原稿を作るのに、大変な苦労があるんだなと感じました。



豆つぶ編集室 (職場体験レポート後記)

石坂高輝くん

3日間働かせていただいてカメラの操作方法や名札の受け渡し方などを学び、市役所職員の仕事は大変だということがわかりました。



船曳啓太くん

取材をさせてもらったり文章を書いたりして、広報の大変さがわかりました。校正の作業は本当に大変な作業だと思いました。



今年のつやまっ子・デビュー14 (職場体験) では、北陵中学校と鶴山中学校の2年生が取材や原稿作成、校正作業を体験し、本ページ右側の記事を作りました。

中学生の職場体験レポート



僕らが伝えたい仕事の大変さ

つやまっ子・デビュー 14 (北陵中学校)

11月8日、JR津山駅では2人の生徒が、改札業務や駅周辺の掃除などを体験していました。生徒たちは「駅を気持ち良く使ってもらうための仕事はとても難しい」と話してくれました。

朝の通勤時間には、たくさんのお客さんが来て、慣れないあいさつに追われる生徒たちの様子から、駅員という仕事の大変さを感じました。

駅員さんは「この仕事の良いところは、お客さんとのふれあいがあることと、ありがたいと言ってもらえる事です。それを中学生にも体験してほしい」と語ってくれました。



命を救う訓練を体験

つやまっ子・デビュー 14 (鶴山中学校)

11月14日、津山消防署では4人の生徒が装備のつけ方や酸素ボンベの使い方、防火服を素早く着る訓練に、真剣な表情で取り組んでいました。さらに、装備を着けて走るなど、慣れない動作に苦戦していました。

休憩中、生徒の1人は「消防士と同じ動きをするのは大変」と苦笑いを浮かべていました。また、指導した消防士は「自分の仕事をやり遂げることの大切さを感じてほしい」と話してくれました。

休憩が終わると、生徒たちはまたすぐに防火服に着替え、職員と共に一生懸命、訓練体験をがんばっていました。

勇壮! にぎわい! 津山のまつり

市内各所

10月から11月にかけて、市内各所で祭りが開催され、大勢の人でにぎわいました。



津山まつり(大隅神社)



津山まつり(徳守神社)



阿波八幡神社の花まつり



津山まつり(高野神社)



新野まつり



物見神社の花まつり



出雲街道
津山城東むかし町



久米ふるさとまつり



かも谷まつり



勝北
ふるさとまつり



さら山時代祭り

